

勝林寺報

「正信偈」のはなし

攝取心光常照護
已能雖破無明闇
貪愛瞋憎之雲霧
常覆真實信心天
譬如日光覆雲霧
雲霧之下明無闇
獲信見敬大慶喜
即橫超截五惡趣
一切善惡凡夫人
聞信如來如實言
人名分陀利華解者
自蓮華とぞたよえます

如來さまのおこころを、こゝではいろいろなことば
をかえて歌われております。

「攝取の心光」というのは、迷いの衆生を、一
人のこさず、みんな自分の心のなかに、おきめ取
り救いとげたいという親心です。

「眞実信心の天」というのは、眞実清淨なまこと
の心で、いつでもどこでも私を見つめていてくださる如來さまの、おおぞらのよくなお慈悲を言つたことばです。

「信を獲て」の信も、如來さまのおこころに気づき出合わしていたよくということ。

「如來の如実の言」というのは、南無阿彌陀仏といふ、如來さまの眞実のおよび声のことです。

つまり、「私たちの浄土真宗で、眞実」とか「如実」とか、「信心」とか「信」というのは、みな、如來さまのおこころや、おはたらきのことを言うのです。

他の宗教のように、私たち人間の「だのみ心」「願い心」「祈り心」を眞実の信心とはよびません。なぜならば、私たちの願い心や祈り心は、外見

私たち人間に、もし「眞実」というものがあるとしたならば、この私にも「信心」というものがあるとしたならば、それは、決して、私がつくり出した眞実や信心ではなくて、如來さまの眞実清淨なまこと心（信心）に、すでに包まれてあることを知つたなかでの喜びの心だけなのでしょう。

母親がつくつてくれた弁当一つだけを持つて、家をとび出してきた非行少年でした。父親にとことん反抗し、母親・祖母に暴力をふるい・

行くあてもないまま家を出て、その夕方、とある小さな公園のベンチに腰かけて開いた弁当。自分の暴力のなかで、身も心もボロボロになつても、たゞ悲しそうな目で祈るように自分を見上げていたあの母のまさしから、どうしてものがれられなかつたのです。

前にお世話になつたことのある、児童相談所のカウンセラーの先生のところへ行つた彼は、三日間相談所にとめてもらつて、泣きつづけていたそうです。お弁当箱を、いつもそばに置いて。

「この子、心の軟弱な子ですから、とても今すぐには立ちなおれますまい。家に帰れば、また同じ事をくりかえすでしょう。でも、この子、今度の家出で、いつでも帰つて行けるところを発見してくれたんです。いつでも帰れるところ、これを発見してくれたことは、ほんとに有難いことなんですね」

カウンセラーの先生は息をはずませはしません。

親類さまはそこで次のようにおよろこびなさいます。

「最高の智恵ある人。私はそのような人を花の王ブンダリーカ（白き蓮の華）とよぼう。なぜなら、いかにいたないドロのなかにも、どんなに清浄な、如來のいのちが咲き出しているのです。

帰るところが発見できて、親心にめざめた安心ができたというものの、私はやつぱりドロ凡夫。このからだ、このところを持つて生きている間は、「むさぼりの欲」「愛してみたり怒つてみたり憎んでみたり」そんな心が、ちよど雲や霧がよし日の雲にかかるとも下にやみなき如くなり。信心よろこび敬えば、迷いの道はたち切られはとけの誓い信すればすぐれし人とほめたまいまんべんとぞたよえます。

しかし問題は、私が怒つたり腹を立てたり、それがたを、見えなくしてしまいます。

ねんだり憎んだりしなくなるということではあります。私たちのすくいは、どうしても煩惱の止まらない私が、実はいつも如來さまの光の下にあるといふ安堵です。

私たちのすくいは、どうしても煩惱の止まらない私が、実はいつも如來さまの光の下にあるといふ安堵です。

そんなことで明るきのなくなるようなものではありません。どんなに煩惱の雲や霧が日の光を邪魔しても、そんなことではあります。」「信を獲て見て敬えば、即のときに横せまに五悪趣を超載す」

公園で開いたお弁当のなかに、親の眞実の心と出合つたそのまろこびのなかで、何ものをもとび超えて、煩惱の身のままに如來のいのちのなかに生れかわるのです。

親のいのちと出会い、如來のいのちに生きかえしが止まるわけではありません。しかし今はもう、如來さまの大いなる願いの船に乗せられての日ぐらしさですから、必ず一日一日の日ぐらしさは、如來さまの家に帰つて行く輝かしい日ぐらしなのです。

独生　　独死
　　（人生れ　　一人死す）
　　（一人去り　　一人来る）

その「ひとり」を
いかに生きるか。

清掃奉仕の日
　　（月二十三日仏教婦人会の役員会
　　は、今年度の行事の一つとして、「お寺の一日清掃奉仕」を決めました。初めてのこゝろみであるので、今はさしつめ役員だけでございますが、会員諸姉の参加も期待しております。七月三日、午後一時からです。）

佛婦連盟総会開く
　　（出石組の仏婦連盟では、今年も次の年程法要と併せて次のように総会をひらきます。私たちみんなの総会です。さそい合つてご参加ください。今年は竜谷大学文学部長信楽先生のご法話をいたゞきます。）

佛婦連盟総会開く
　　（月二十三日（日）前九時受付
　　期日　六月十九日（日）前九時受付
　　会場　勝林寺　講師　窪田正慈師（ひめじ）申込　役員を通じて）

佛婦連盟総会へ

勝林寺仏教婦人会では、例年通り永代經法要と併せて次のように総会をひらきます。私たちみんなの総会です。さそい合つてご参加ください。今年は竜谷大学文学部長信楽先生のご法話をいたゞきます。

日時　七月九日（土）前九時半
講師　信楽　窪田先生
会費　米二合と三百円
申込　役員を通じて

この度を
迷の終りとせずば

また迷いの
始めとなる

お仏壇のこと

お仏壇を新らしくあつらえるについていろいろとご相談をかけてくださいます。/

① うちには亡くなつた人はいないのだけれどもお仏壇を設けてもよろしいか。

死者を祭る所ではありません。私たちの日

日のいのちの「よるべ」としてお仏壇は持つべきです。

お仏壇をしつらえるのに日をえらぶべきですか。

心の親を迎えるのに日のよしあしはあります。

どんな仏壇がいいのですか。

お仏壇をしめたるより「正しい仏壇」にしたいものです。真宗の正しい仏壇のカタログをすく。

真宗の親を迎えるのに日のよしあしはあります。

「魂」を抜いたり入れたりする意味での法要は真宗では致しません。長い間の御礼とお迎えさせていたゞいたおいわいのよろこびの法要をします。

仏壇の位置や方向は真宗では一切そのような事に関りません。

一番目につきやすい参りやすい、そしてなるべく壯嚴な場所を選ぶべきです。

一番大事なほとけ様は、どのようにお迎えしたらよろしいか。仏壇店などの市販のものは買はないと必ずご本山からお受けして下さい。品質も格段に良質です。寺に申し出て下さい。

六月のことよみ

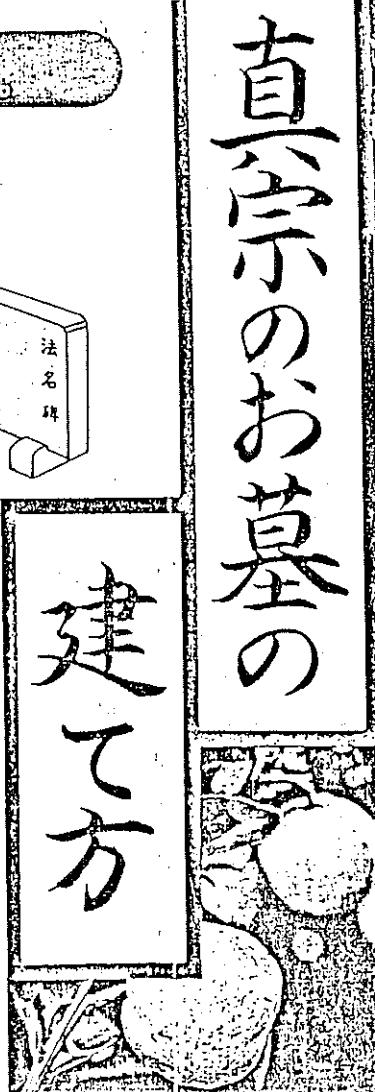
1 軸石の正面にはお名号の「南無阿彌陀佛」を刻みます。これが親鸞聖人の教えを受け継ぐ真宗門徒のあるべき姿です。

2 家名を入れる場合、台石の正面が、囲み石の柱に刻みます。家紋の場合も同じです。

3 文字は用いません。「法名碑」とか「〇〇家供会一處」法名のための碑(石板)に、真宗では「靈標」という文字は用いません。「法名碑」とか「〇〇家供会一處」としたいものです。碑を別に作らない場合は、軸石の側面に刻みます。

4 水子地蔵や五輪塔などは真宗では必要ありません。水子地蔵や五輪塔などは真宗では必要ありません。

真宗のお墓の建て方



5 建てられた方の名前や年月は軸石の裏側に刻みますが、「〇〇年〇月吉日」のように「吉日」の文字は入れません。

6 お墓は思い立つた時に建てましょう。お盆やお彼岸、年回などにという決まりにありません。ただわらないことです。

7 お墓の向き、場所、墓石の形、石の積み方などを心配される方もありますが、そつした事柄にとらわれる必要はありません。それぞれのお寺にご相談下さい。

五月二十五日

葬儀

上小田
西山やえ様

- 一日 出石組仏婦連盟評議員会・役員会
- 二・三日 滋賀教区門徒総代研修へ出講
- 三日 上小田連研
- 八・九日 出石組念仏奉仕団
- 十二日 出石組組会・森木義信氏宅法事
- 十九日 出石組仏婦連盟総会・追悼会
- 二十日 みのりを聞く会
- 二十三日 教区組画変更企画室会議
- 二十七日 玉井克弥氏宅祥月
- 二八日 九日 勝林寺住職三百回忌墓參・西方寺永代経
- 三十日 住職会

「大坂尾明月」「出雲々」「舞い孔雀」「琴の糸」「金かくれ」「鳴立つ沢」
なんの名前かご存知でしょうか。
この春、これらの名前のついたモミジの木を、佐田の石田義雄様が寺の境内に植えて下さいました。季節をその葉の色の変化に見て有難く楽しんでいただきます。